

支援学校高等部 公民・福祉共通

解答についての注意点

- 1 問題は、教科等に関する大問 **1** ～大問 **5** の各問題、特別支援教育に関する大問 **6** から構成されています。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 3 大問 **1** と大問 **2** については、記述式解答用紙に、大問 **3** ～大問 **6** については、マーク式解答用紙に、記入してください。
- 4 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 5 大問 **3** ～大問 **6** の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 6 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 7 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

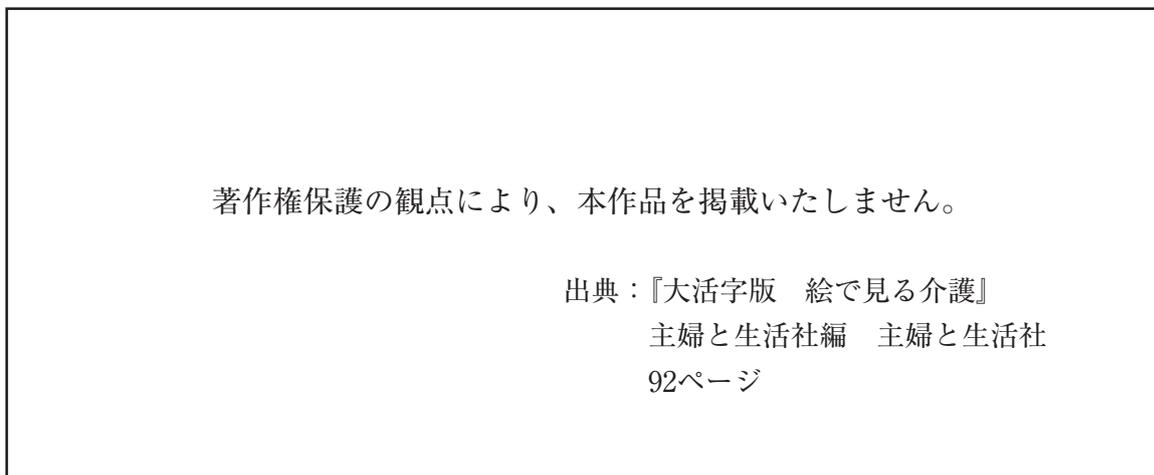
指示があるまで中をあけてはいけません。

大阪府では、「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とし、「障がい」としています。問題中では、機関・団体の名称等の固有名詞や、法令や文献等からの引用部分については、もとの「障害」の表記にしています。

1 次の各問いに答えよ。

(1) 次の図1は、右足に障がいのある人が、杖を使って平地で溝をまたぐ前の様子(①)とまたいでいる最中の様子(②)を示したものである。ア、イの問いに答えよ。

図1



(主婦と生活社『大活字版 絵で見る介護』より)

ア 図1中の①において、この人が左手に杖を持っている理由を、その効果を含めて「健側」、「患側」という2つの語句を用いて簡潔に記せ。なお、字数は句読点を含め、30字程度とする。

イ この人が安全にこの溝を渡るためには、図1中の①から②に至るまでに、二つの適切な動作を適切な順序で行う必要がある。その二つの適切な動作と、それらを行う適切な順序について「患側」という語句を用いて記せ。なお、字数は句読点を含め、30字程度とする。

(2) 次の図2は、機械浴の入浴介助の流れの一例の途中5時点における介助の様子を①～⑤まで時系列に示している。下の文章は、この①～⑤それぞれの時点における介助の様子について説明したものであり、利用者の安心と安全に配慮した機械浴の入浴介助について述べている。空欄(A)～(E)に入る最も適切な語句を、あとの【語群】から一つずつ選び記せ。ただし、語群には不要な語句も含まれている。

図2

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：『介護技術』新・セミナー 介護福祉 三訂版12
 一番ヶ瀬康子・井上千津子・鎌田ケイ子・日浦美智江編 ミネルヴァ書房
 71ページ 3-29 機械浴の入浴介助

(一番ヶ瀬康子・井上千津子・鎌田ケイ子・日浦美智江編『介護技術』新・セミナー 介護福祉 三訂版12、ミネルヴァ書房、2007年より)

- ① 髪を洗い、乾いたタオルで水分を拭き取る。耳もタオルで拭く。
- ② 全身を洗う。介助者は両サイドに立ち、(A) 防止と利用者の身体の安定に注意する。背部は(B)にして洗う。
- ③ (C) に浴槽が上昇することを説明し、レバーを操作してゆっくり浴槽を上昇させる。
- ④ お湯の中で利用者の体を温める。介助者は利用者の体調を(D)し、気分不快、疲労感などに注意する。
- ⑤ (E) を下降させ、担架部を浴用ストレッチャーに接続してスライドさせる。

【語群】	浴用ストレッチャー	担架	浴槽	転落	上昇	介助者
	利用者	観察	仰臥位	側臥位	座位	清拭

(3) 高齢者介護・看護にあたっては、痰(たん)が詰まると、呼吸が苦しくなったり、肺炎の原因になったりすることがある。普段から、痰を除くために、痰を出しやすくする工夫として効果的な事柄を、高齢者自身の行為や姿勢でできることと、居室の環境整備でできることを簡条書きで三つ答えよ。

2 次の各問いに答えよ。

(1) 次の表は、「ADLの分野別主要な福祉用具」を分類したものである。下のア～ウの福祉用具は、この表のどの分野において用いるものか。表中の分野名（起居、移乗等）で記せ。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：『介護技術』新・セミナー 介護福祉 三訂版12
一番ヶ瀬康子・井上千津子・鎌田ケイ子・日浦美智江編 ミネルヴァ書房
165ページ 6-2 ADL 分野別主要な福祉用具

(一番ヶ瀬康子・井上千津子・鎌田ケイ子・日浦美智江編『介護技術』新・セミナー 介護福祉 三訂版12、ミネルヴァ書房、2007年より)

ア ナースコール イ ストーマ関連用品 ウ ボタンエイド

(2) 次の文章は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説福祉編第1章 第3節 福祉科の目標」の一部である。空欄（A）～（D）に入る適切な語句をそれぞれ、あとの【語群】から一つずつ選び記せ。ただし、語群には不要な語句も含まれている。

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の（A）に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる（B）を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな（C）を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ（D）に取り組む態度を養う。

【語群】	倫理観	幸福	表現力	科学的	尊厳
	協働的	人間性	世界観	エンパワーメント	

3 次の各問いに答えよ。

問1 次の文章の空欄A～Gに当てはまる語句として最も適切なものはどれか。それぞれ1～5から一つ選べ。

社会保障制度の成立には、貧困問題に対する社会的理解の転換を認めることができる。イギリスの例では、1601年以来、により生活に必要な現金や現物の給付、救貧院への収容、労働可能な者への仕事の提供などが行われた。また、1834年には新救貧法が制定された。新救貧法では、保護される者は自立して生きる労働者の最下層の生活よりも劣るべきとする「の原則」や、労役場の中だけでしか貧民に対処しないとす「院外非救済の原則」が徹底された。その背景には、当時の自助自立、貧困の個人責任論を当然視する社会的思想があったと考えられる。その後、社会問題・貧困問題の理解に向けた取り組みが行われるようになった。その取り組みの一つがいわゆる「貧困調査」であり、ロンドン調査を実施したや調査を実施したラウントリーがよく知られている。ラウントリーは、必要とされるをみたしうる飲食物費を理論的に算出し、これに他の必要経費を一つ一つ加算して最低生活費を算出した。ラウントリーの最低生活費の算出方法は、方式として知られている。第二次世界大戦後、貧困の理解は進み、ナショナル・ミニマムを保障するための社会保障制度が整備された。その一方で、貧困問題の理解は転換し、「格差」への注目が広がることとなった。は、相対的剥奪という概念で貧困をとらえることをめざし、貧困調査の手法の開発に努めた。

空欄Aの語群（解答番号は）

- 1 工場法 2 国民扶助法 3 エリザベス救貧法 4 労働法
5 社会保障法

空欄Bの語群（解答番号は）

- 1 均一抛出 2 劣等処遇 3 均一給付 4 優性保護 5 補足性

空欄Cの語群（解答番号は）

- 1 ロック 2 ジョンソン 3 パークレー 4 ブース 5 チャルマーズ

空欄Dの語群（解答番号は）

- 1 マンチェスター 2 ブリストル 3 ヨーク 4 リヴァプール
5 スピーナムランド

空欄Eの語群（解答番号は）

- 1 栄養所要量 2 最低賃金 3 地価 4 等価可処分所得 5 物価指数

空欄Fの語群（解答番号は）

- 1 格差縮小 2 マーケットバスケット 3 水準均衡 4 層化抽出
5 ローレンツ

空欄Gの語群（解答番号は）

- 1 ブラッドショー 2 アトリー 3 タウンゼント 4 サッチャー
5 グリフィス

問2 次は、わが国における障害者施策に関する文章である。空欄A～Hに当てはまる語句として最も適切なものはどれか。それぞれ1～5から一つ選べ。

わが国では、1949年に身体障害者福祉法、に精神薄弱者福祉法が制定された。なお、精神薄弱者福祉法は、のちにに改称されている。

わが国の障害者施策の総合的推進を図ることは、1970年に成立した心身障害者対策基本法において示され、その後、国際連合が定めた1981年の国際障害者年を契機として、さらに推進が図られることとなった。

国際連合により「障害者の十年」(1983年～1992年)が宣言される等の動きを踏まえ、わが国における障害者施策に関する長期計画が策定された。1993年の改正で、心身障害者対策基本法は、に改称され、その後も改正があり、現在に至っている。この法律の第四条では、「何人も、障害者に対して、障害を理由として、差別することその他の権利利益を侵害する行為をしてはならない。」「2 社会的障壁の除去は、それを必要としている障害者が現に存し、かつ、その実施に伴う負担が過重でないときは、それを怠ることによつて前項の規定に違反することとならないよう、その実施について必要かつがされなければならない。」「3 国は、第一項の規定に違反する行為の防止に関する啓発及び知識の普及を図るため、当該行為の防止を図るために必要となる情報の収集、整理及び提供を行うものとする。」と定められている。この他、この法律では、の創設、の策定義務化、公共的施設のバリアフリー化、におけるバリアフリー化などが定められている。さらに、この法律の差別の禁止の基本原則を具現化するものであるが2013年に制定された。

空欄Aの語群 (解答番号は)

- 1 1951年 2 1955年 3 1960年 4 1963年 5 1973年

空欄Bの語群 (解答番号は)

- 1 精神保健福祉法 2 支援費法 3 心身障害者福祉法
4 知的障害者福祉法 5 精神障害者福祉法

空欄Cの語群 (解答番号は)

- 1 障害者基本法 2 ハートビル法 3 障害者総合支援法
4 障害者自立支援法 5 障害者雇用促進法

空欄Dの語群 (解答番号は)

- 1 主体性配慮 2 伴走的配慮 3 合理的な配慮 4 最大限の配慮
5 包摂的配慮

空欄Eの語群（解答番号は ）

- 1 障害者月間 2 障害者の日 3 障害者週間 4 共生社会推進月間
5 共生社会啓発週間

空欄Fの語群（解答番号は ）

- 1 地域共生計画 2 障害者保健福祉計画 3 障害者地域福祉計画
4 障害者雇用計画 5 障害者基本計画

空欄Gの語群（解答番号は ）

- 1 相談援助 2 医療機関の利用 3 情報の利用 4 学校の利用
5 夜間移動

空欄Hの語群（解答番号は ）

- 1 バリアフリー促進法 2 ギルバート法 3 社会的包摂基本法
4 共生社会法 5 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律

4 次の日本国憲法の前文の一部を読み、次の問いに答えよ。

前文

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と^(a)生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、(A)と隷従、(B)と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる^(b)国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と(C)から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

われらは、いづれの^(c)国家も、^(d)自国のことのみ^(d)に専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる。

(1) 前文中の(A)～(C)にあてはまる語句の組合せとして正しいものを、次の1～5から一つ選べ。解答番号は

- | | | | |
|---|------|------|------|
| 1 | A 専制 | B 抑圧 | C 困窮 |
| 2 | A 独裁 | B 圧迫 | C 困窮 |
| 3 | A 専制 | B 圧迫 | C 欠乏 |
| 4 | A 独裁 | B 抑圧 | C 欠乏 |
| 5 | A 専制 | B 抑圧 | C 欠乏 |

(2) 前文中の下線部(a)に関連して、日本の社会保障について述べた次の文章のうち、正しいものを、次の1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 公的年金制度は、自分が積み立てた保険料が将来年金として戻ってくる「積立方式」をとっている。
- 2 介護保険に加入するのは40歳以上の人であり、保険料は所得水準に応じて決まる。
- 3 地域保健法に規定されている保健事業は、都道府県や政令指定都市、中核市等を単位として設置される「保健センター」と市町村を単位に設置される「保健所」を中心に行われている。
- 4 雇用保険制度は、任意の保険制度であり、労働者を一人でも雇用する事業主は加入することができる。
- 5 1938年、国民健康保険法の制定により、国民すべてが公的な医療保険に加入する「国民皆保険」制度が実現した。

(3) 前文中の下線部(b)に関連して、地球環境に関する取組みについての記述として誤っているものを、次の1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 フランスのパリで開催された第21回国連気候変動枠組条約締約国会議（COP21）において、2020年以降の温室効果ガス排出削減等のための新たな国際枠組みとして、パリ協定が採択された。
- 2 1992年、国連環境開発会議において採択された「人間環境宣言」および「環境国際行動計画」を実施に移すための機関として、国連環境計画（UNEP）が設立された。
- 3 「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約（ラムサール条約）」は各締約国がその領域内にある国際的に重要な湿地を1ヶ所以上指定し、条約事務局に登録するとともに、湿地の保全及び賢明な利用促進のために各締約国がとるべき措置等について規定している。
- 4 「生物の多様性に関する条約（生物多様性条約）」は、個別の野生生物種や、特定地域の生態系に限らず、生物の多様性の包括的な保全を目指す国際条約として、1993年に発効した。
- 5 「水銀に関する水俣条約」は、水銀が人の健康や環境に与えるリスクを低減するための包括的な規制を定める条約で、日本は2016年に条約を締結した。

(4) 前文中の下線部(c)に関連して、「主権」は「国家の三要素」の一つとされている。「国家の三要素」の残る二つの組合せとして正しいものを、次の1～5から一つ選べ。解答番号は

- | | | |
|---|----|----|
| 1 | 国民 | 領域 |
| 2 | 憲法 | 領域 |
| 3 | 憲法 | 国民 |
| 4 | 領域 | 元首 |
| 5 | 国民 | 元首 |

(5) 前文中の下線部(d)に関連して、次の表は2018年に日本が実施した二国間政府開発援助の供与相手国（支出純額ベース）の上位5か国と、それぞれの国の年齢別人口構成をあらわしたものである。表中のA～Cに当てはまる国の組合せとして正しいものを、下の1～5から一つ選べ。

解答番号は

国名	政府開発援助合計 (単位は百万ドル)	年齢別人口 (%)		
		0～14歳	15歳～64歳	65歳以上
A	1375.4	30.9	63.6	5.5
バングラディシュ	1179.3	30.8	64.6	4.6
ミャンマー	536.9	28.0	66.0	6.0
B	474.2	40.2	56.6	3.2
C	203.8	23.8	68.2	8.0

(『2019年版 開発協力白書』ならびに『世界国勢図会 2019/20年版』による)

- | | | | |
|---|----------|----------|--------|
| 1 | A インドネシア | B ベトナム | C インド |
| 2 | A インド | B インドネシア | C 中国 |
| 3 | A 中国 | B インド | C イラク |
| 4 | A インド | B イラク | C ベトナム |
| 5 | A インドネシア | B インド | C 中国 |

5 次の(1)、(2)の問いに答えよ。

(1) 次の文章は、2020(令和2)年3月31日に閣議決定された『消費者基本計画』の一部である。この文章を読み、下のア～オの問いに答えよ。

1990年代以降は規制緩和の流れを背景に自己責任や市場機能の発揮がうたわれ、^A消費者の利益の保護の在り方が問われるようになった。製造物に起因する事故による被害者の保護のために欠陥責任の考え方による製造物責任を定めた【A】(平成6年法律第85号)が制定されるなど制度整備が進む一方で、1990年代後半以降^Bインターネットが急速に普及するなど、情報化社会の進展に関係する新たな消費者問題が発生・増加した。さらにBSE(牛海綿状脳症: Bovine Spongiform Encephalopathy)問題等を背景として食品の安全性に関する問題が消費者に意識されるようになった。これらの問題に対応するため、消費者契約法(平成12年法律第61号)、特定電子メールの送信の適正化等に関する法律(平成14年法律第26号)、食品安全基本法(平成15年法律第48号)及び個人情報保護に関する法律(平成15年法律第57号。以下「個人情報保護法」という。)が制定されている。

こうした^C消費者を取り巻く社会情勢の大きな変化やこれに対応した立法動向を踏まえ、消費者政策の在り方を^D現代の経済社会にふさわしいものとすべく、2004年には消費者保護基本法が【B】へと改正された。この法律では消費者の位置付けを「保護される者」から「自立した主体」へと転換し、「【C】」と「消費者の自立の支援」を消費者政策の基本とする。

ア 下線部Aに関連して、消費者団体訴訟制度の説明として、誤っているものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 事業者の不当な行為に対して、適格消費者団体が差止めを求めることができる。
- 2 不当な事業者に対して、特定適格消費者団体が被害の回復を求めることができる。
- 3 消費者の被害の回復のためには、特定適格消費者団体に対して、消費者が一定の裁判費用や報酬を支払う必要がある。
- 4 総務大臣が認定した消費者団体が、消費者に代わって事業者に対して訴訟をすることができる。
- 5 適格消費者団体や特定適格消費者団体の活動を支援するために、消費者スマイル基金がある。

イ 下線部Bに関連して、日本の情報社会に関する説明として、正しいものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 特定通信による情報の流通により自己の権利を侵害された人は、「個人情報の保護に関する法律」に基づいて、関係するプロバイダ等に対し、発信者の情報の開示を請求することができる。
- 2 携帯電話事業者は、携帯電話インターネット接続サービスの使用者が18歳未満である場合には、原則としてフィルタリングサービスを提供する義務が課せられている。
- 3 情報公開制度において、開示請求をすることができるのは、行政機関の職員が保有する文書であり、図画や電子データは開示請求の対象にならない。
- 4 サイバーセキュリティ基本法は、情報機器やサービスにアクセスする際に使用するIDやパスワード等を不正に取得したり、情報機器やサービスに対して、不正に利用できる状態にしたりする行為を禁止している。
- 5 第4期科学技術基本計画において、我が国が目指すべき未来社会の姿として提唱された情報社会(Society4.0)とは、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会のことである。

ウ 下線部Cに関連して、消費者を取り巻く社会情勢や立法の動向の説明として、正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 薬害肝炎訴訟では、全国原告団及び弁護士と厚生労働大臣との間で和解協議が行われたが、現在も全国原告団及び弁護士と厚生労働大臣との間で基本合意には至っていない。
- 2 特定商取引法に基づくクーリング・オフ制度は、通信販売にも適用される。
- 3 日本では、2009（平成21）年、消費者行政を一元化するために消費者庁が設置されるとともに、消費者行政全般に対して意見表明を行う消費者委員会が設置された。
- 4 1962年、アメリカのニクソン大統領が、消費者には4つの権利があると宣言した。
- 5 食品ロスの削減を総合的に推進することを目的とした、食品ロスの削減の推進に関する法律（食品ロス削減推進法）が制定されたが、食品ロスの削減に関し、国、地方公共団体等の責務は明らかにされなかった。

エ 下線部Dに関連して、1990年以降の国際経済の動向の説明として、誤っているものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 2008年、アメリカ大手投資銀行リーマン・ブラザーズの破産申請により、国際金融資本市場の緊張は一気に高まり、世界的な金融危機となった。
- 2 2015年、第21回国連気候変動枠組条約締約国会議（C O P 21）において、2020年以降の温室効果ガス排出削減等のための新たな国際枠組みであるパリ協定が採択された。
- 3 1999年、単一通貨「ユーロ」が導入され、導入当初は現金を伴わない決済通貨であったが、2002年にユーロの紙幣と硬貨の流通が始まった。
- 4 1994年、カナダ・アメリカの2国間で、商品・サービスの貿易障壁を撤廃することを目的に、北米自由貿易協定が発効した。
- 5 G20サミット開催にあたり、現議長国、前議長国並びに次期議長国が協力するトロイカ体制がとられるようになり、2011年のカンヌ・サミットから公式化された。

オ 文章中の【A】～【C】に該当する、語句の組合せとして正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- | | | | |
|---|--------------|----------|-------------|
| 1 | A 製造物責任法 | B 消費者安全法 | C 消費者の権利の尊重 |
| 2 | A 消費生活用製品安全法 | B 消費者基本法 | C 消費者の被害の防止 |
| 3 | A 製造物責任法 | B 消費者安全法 | C 消費者の被害の防止 |
| 4 | A 消費生活用製品安全法 | B 消費者基本法 | C 消費者の権利の尊重 |
| 5 | A 製造物責任法 | B 消費者基本法 | C 消費者の権利の尊重 |

(2) 次の文章は、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成28年12月21日 中央教育審議会）の一部である。この文章を読み、下のア～ウの問いに答えよ。

A 高等学校段階の生徒は、自分の人生をどう生きればよいか、B 生きることの意味は何かということについて思い悩む時期であり、自分自身や自己と他者との関係、さらには、広く国家や社会について関心を持ち、C 人間や社会の在るべき姿について考えを深める時期でもある。

ア 下線部Aに関連して、次の①～③の問いに答えよ。

① 青年期に関する記述として誤っているものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 オールポート（G.W.Allport）は、年齢的には大人でも、心理的に少年のままの、大人へ成長することを拒む男性のことを永遠の少年であるピーターパンに例えて、「ピーターパン＝シンドローム」と名づけた。
- 2 小此木啓吾は、いつまでも自我同一性を確立させず、猶予期間にとどまり続ける同一性の拡散状態を呈する青年を「モラトリアム人間」と名づけた。
- 3 レヴィン（K.Lewin）は、青年期は、子どもと大人の間期の時期であり、その両面の心理的特性をもつことから、青年を「マージナルマン」と名づけた。
- 4 ホリングワース（L.S.Hollingworth）は、青年期について、親の管理下から離れ、自らの意思で自己決定する心理的離乳の時期であると唱えた。
- 5 ルソー（J.J.Rousseau）は、『エミール』において、青年期における精神的な自己のめざめを「第二の誕生」という言葉で例えた。

- ② 下の図は、『青年の精神病理 1』（1976年、笠原嘉ほか）における、青年期の延長とその区分（数字は年齢を示す）を示したものである。下の図から読み取れること、および青年期の成立にかかわることがらについて述べた次の a～c のうち、正しいもののみをすべて挙げているものはどれか。1～5 から一つ選べ。解答番号は

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：青年の精神病理 1

笠原嘉 他著 株式会社 弘文堂

6 ページ 図1 青年期の延長とその区分

- a 中世のヨーロッパにおいて青年期は存在せず、フランスの歴史学者アリエス（P. Ariès）は、中世のヨーロッパでは子どもは7歳頃になると「小さな大人」として扱われたと指摘した。
- b 青年期の成立は、産業化、都市化、教育の普及など近代化の過程と深い結びつきがあり、近代を通じて青年期は、教育制度を法的に整備することなどを通して保障されるようになった。
- c 1950年代半ば以降の高度産業社会化は青年期を引き延ばし、現在では青年期と成人期との境界がなくなった。

- 1 a
2 b
3 a と b
4 b と c
5 a と b と c

- ③ 青年期の発達課題や人格形成に関する記述として誤っているものを1～5 から一つ選べ。

解答番号は

- 1 シュプラランガー（E. Spranger）は、人生はその人が追求する価値によって方向づけられると考え、理論型、経済型、審美型、社会型、権力型、宗教型の六つの類型に分類した。
- 2 クレッチマー（E. Kretschmer）は、リビドーと呼ばれる心的エネルギーが外界と内面のどちらに向かいやすいかによって性格を外向型と内向型の二つの類型に分類した。
- 3 エリクソン（E. H. Erikson）は、青年期の発達課題は「自分とは何か」に答えて自分のアイデンティティを確立することであると唱えた。
- 4 ハヴィガースト（R. J. Havighurst）は、青年期の発達課題として「社会的に責任ある行動を求め、成し遂げる」「親からの心理的な独立」などを唱えた。
- 5 マズロー（A. H. Maslow）は、自己実現の欲求を人間の最高の欲求として位置づけ、その下には順に、尊重の欲求、所属と愛情の欲求、安全の欲求、生理的欲求があるとした。

イ 下線部Bに関連して、人間を生きる意味を求める精神的な存在としてとらえ、人生への態度や行動を分析して生きる意味を解明する実存分析を主張したオーストリアの精神医学者は誰か。

1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 フロム (E. Fromm)
- 2 ユング (C. G. Jung)
- 3 フロイト (S. Freud)
- 4 リースマン (D. Riesman)
- 5 フランクフル (V. E. Frankl)

ウ 下線部Cに関連して、社会の在り方や人間としての在り方生き方に関する倫理観についての記述として誤っているものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 ミル (J. S. Mill) は、他者危害原則を強調し、自由で寛容な社会で確保される個性や自発性が個人の幸福にとって不可欠な要素であると訴えるとともに、諸個人の自由を軽視することは社会発展を損ねると主張した。
- 2 ロールズ (J. B. Rawls) は、社会の成員に平等な機会を与えたうえでの公正な競争の結果生じた不平等にとどめるとする「公正な機会均等の原理」と、社会の中で最も不遇な生活を強いられている人々の境遇を改善する「格差の原理」を唱えた。
- 3 アリストテレス (Aristoteles) は、事物は事物に内在する本質であるヒュレーと素材となるエイダスとの合成体であり、事物にはすべて固有の目的因が存在し、政治の目的因は国民の美徳の涵養であると考えた。
- 4 カント (I. Kant) は、自律の能力をもつ、理性ある存在を人格と呼び、人格を絶対的価値をもつものとしてとらえ、各人が互いの人格を目的として尊重しあうことによって結びつく社会を目的の国と呼び、理想の社会と考えた。
- 5 ベンサム (J. Bentham) は、社会は諸個人の総和であるから、諸個人の幸福の総計が社会全体の幸福になるとし、最大多数者の最大幸福が立法や行政などの社会の指導理念になると考えた。

大阪府では、「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とし、「障がい」としています。問題中では、機関・団体の名称等の固有名詞や、法令や文献等からの引用部分については、もとの「障害」の表記にしています。

6 特別支援教育に関する法令や近年の動向について、次の(1)～(8)の問いに答えよ。

(1) 次の文は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(平成28年4月施行)第一条である。空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

(目的)

第一条 この法律は、 (昭和四十五年法律第八十四号)の基本的な理念にのっとり、全ての障害者が、障害者でない者と等しく、を享有する個人としてその尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有することを踏まえ、障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項、等及び事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置等を定めることにより、障害を理由とする差別の解消を推進し、もって全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながらする社会の実現に資することを目的とする。

	ア	イ	ウ	エ
1	発達障害者支援法	社会生活	独立行政法人	共生
2	障害者基本法	平等権	行政機関	支援
3	発達障害者支援法	基本的人権	地方公共団体	共生
4	障害者基本法	平等権	地方公共団体	支援
5	障害者基本法	基本的人権	行政機関	共生

(2) 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令の制定並びに特別支援学校幼稚部教育要領の全部を改正する告示及び特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の全部を改正する告示の公示について（通知）」（平成29年4月 文部科学省）の（5）小学部・中学部における主な改善事項④「一人一人に応じた指導の充実」では、児童生徒の障がいの状態や特性及び心身の発達の段階等を十分考慮し、育成を目指す資質・能力を育むため、障がいの特性等に応じた指導上の配慮を充実させることを示した。次に示す指導上の配慮は、特に、どの障がい種別にあたるか。正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

障がいの特性等に応じた指導上の配慮	障がい種別
間接体験、疑似体験等を取り入れた指導方法の工夫	<input type="text" value="ア"/>
体験的な活動を通じた的確な言語概念等の形成	<input type="text" value="イ"/>
音声、文字、手話、指文字等を活用した意思の相互伝達の充実	<input type="text" value="ウ"/>
空間や時間の概念形成の充実	<input type="text" value="エ"/>

	ア	イ	ウ	エ
1	聴覚障害	視覚障害	病弱	肢体不自由
2	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	病弱
3	病弱	肢体不自由	聴覚障害	視覚障害
4	病弱	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由
5	視覚障害	聴覚障害	病弱	肢体不自由

(3) 次の各文は、「特別支援学校小学部・中学部学習指導要領」(平成29年4月告示)の記述である。
次の①、②の問いに答えよ。

① 「第7章 自立活動」について、正しく述べられているものの組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 「目標」は、個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培うことである。

イ 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつこと。

ウ 自立活動の指導に当たっては、個々の児童又は生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等の的確な把握に基づき、指導すべき課題を明確にすることによって、指導目標及び指導内容を設定し、個別の指導計画を作成するものとする。

エ 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。

オ 学級活動においては、適宜他の学級や学年と合同で行うなどして、少人数からくる種々の制約を解消し、活発な集団活動が行われるようにする必要があること。

- 1 アーウ
- 2 イーエ
- 3 アーウーオ
- 4 イーウーエ
- 5 アーイーウ

② 次の各文は、自立活動の「内容」の記述の一部である。記述中の空欄ア～オに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

1 健康の保持

2 心理的な安定

3

- (1) 他者とのかかわりの基礎に関する事。
- (2) 他者の意図や感情の理解に関する事。
- (3) 自己の理解と行動の調整に関する事。
- (4) 集団への参加の基礎に関する事。

4

- (1) 保有する感覚の活用に関する事。
- (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事。
- (3) 感覚の補助及び の活用に関する事。
- (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事。
- (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。

5

- (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事。
- (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事。
- (3) 日常生活に必要な基本動作に関する事。
- (4) 身体の移動能力に関する事。
- (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事。

6 コミュニケーション

- (1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事。
- (2) 言語の と表出に関する事。
- (3) 言語の形成と活用に関する事。
- (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。
- (5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	人間関係の形成	環境の把握	保有感覚	身体の動き	理解
2	個人と他者	環境の把握	保有感覚	安全な生活	理解
3	人間関係の形成	体験学習	保有感覚	安全な生活	受容
4	人間関係の形成	環境の把握	代行手段	身体の動き	受容
5	個人と他者	体験学習	代行手段	身体の動き	理解

(4) 次の各文は、「学校教育法」(平成30年6月一部改正)の「第八章 特別支援教育」の条文である。
正しいもののみをすべてあげているのはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。

イ 特別支援学校には、小学部及び中学部を置かなければならない。ただし、特別の必要のある場合においては、そのいずれかのみを置くことができる。

ウ 特別支援学校の幼稚部の教育課程その他の保育内容、小学部及び中学部の教育課程又は高等部の学科及び教育課程に関する事項は、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準じて、都道府県教育委員会が定める。

エ 特別支援学校には、寄宿舎を設けなければならない。ただし、特別の事情のあるときは、これを設けないことができる。

オ 都道府県は、その区域内にある学齢児童及び学齢生徒のうち、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者で、その障害が第七十五条の政令で定める程度のものを就学させるに必要な特別支援学校を設置しなければならない。

- 1 アーイーエ
- 2 イーウーオ
- 3 アーイーエーオ
- 4 アーウーエーオ
- 5 アーイーウーエーオ

(5) 次の文は、「発達障害者支援法」(平成28年6月一部改正) 第八条の一部である。文中の空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

国及び地方公共団体は、発達障害児（十八歳以上の発達障害者であって高等学校、 及び特別支援学校並びに専修学校の高等課程に在学する者を含む。以下この項において同じ。）が、その年齢及び能力に応じ、かつ、その特性を踏まえた十分な教育を受けられるようにするため、可能な限り発達障害児が発達障害児でない児童と共に教育を受けられるよう配慮しつつ、適切な教育的支援を行うこと、 の作成（教育に関する業務を行う関係機関と医療、保健、福祉、労働等に関する業務を行う関係機関及び民間団体との連携の下に行う個別の長期的な支援に関する計画の作成をいう。）及び の作成の推進、 の防止等のための対策の推進その他の支援体制の整備を行うことその他必要な措置を講じるものとする。

	ア	イ	ウ	エ
1	大学	個別の教育支援計画	個別の指導に関する計画	差別
2	中等教育学校	個別の教育支援計画	個別の指導に関する計画	いじめ
3	中等教育学校	個別の指導に関する計画	個別の教育支援計画	差別
4	大学	個別の指導に関する計画	個別の教育支援計画	いじめ

(6) 「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」（平成31年3月 文部科学省）について、次の①、②の問いに答えよ。

① 「2 学習評価の主な改善点について」、空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。
1～5から一つ選べ。解答番号は

高等学校及び特別支援学校（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由又は病弱）高等部における各教科・科目の評価について、学習状況を に捉える観点別学習状況の評価と、これらを に捉える評定の両方について、学習指導要領に示す各教科・科目の目標に基づき学校が地域や に即して定めた当該教科・科目の目標や内容に照らし、その実現状況を評価する、目標に した評価として実施することを明確にしたこと。

	ア	イ	ウ	エ
1	個別的	作業的	生徒の実態	準拠
2	職業的	客観的	家庭の状況	配慮
3	個別的	総括的	家庭の状況	準拠
4	分析的	客観的	キャリア教育	配慮
5	分析的	総括的	生徒の実態	準拠

② 「3 指導要録の主な改善点について」、空欄ア～ウに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。
1～5から一つ選べ。解答番号は

特別支援学校（知的障害）各教科については、特別支援学校の新学習指導要領において、小・中・高等学校等との を重視する観点から小・中・高等学校の各教科と同様に育成を目指す の三つの柱で目標及び内容が整理されたことを踏まえ、その学習評価においても観点別学習状況を踏まえて を行うこととしたこと。

	ア	イ	ウ
1	生きる力	資質・能力	自由記述
2	学びの連続性	資質・能力	文章記述
3	横断的学習	資質・能力	文章記述
4	学びの連続性	改善・克服	特技の記述
5	生きる力	改善・克服	自由記述

(7) 次の各文は、「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」(平成27年12月中央教育審議会答申)のこれからの時代の教員に求められる資質能力について述べたものである。正しい記述のみをすべてあげた組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア これまで教員として不易とされてきた資質能力に加え、自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていくことのできる力や、情報を適切に収集し、選択し、活用する能力や知識を有機的に結びつけ構造化する力などが必要である。

イ 子供たち一人一人がそれぞれの夢や目標の実現に向けて、自らの人生を切り開くことができるよう、これからの時代に生きる子供たちをどう育成すべきかについての目標を組織として共有し、その育成のために確固たる信念をもって取り組んでいく姿勢が必要である。

ウ アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善、道徳教育の充実、小学校における外国語教育の早期化・教科化、ICTの活用、発達障害を含む特別な支援を必要とする児童生徒等への対応などの新たな課題に対応できる力量を高めることが必要である。

エ 学校安全への対応、幼小接続をはじめとした学校間連携等への対応が必要である。

オ 「チーム学校」の考えの下、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、組織的・協働的に諸課題の解決に取り組む力の醸成が必要である。

- 1 アーイーウ
- 2 イーウーオ
- 3 アーイーウーエ
- 4 アーウーエーオ
- 5 アーイーウーエーオ

(8) 「大阪の支援教育」(令和元年度版 大阪府教育庁)において、述べられている大阪府の支援教育の現状のうち、適切でないものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 大阪府では、すべての幼児児童生徒が「ともに学び、ともに育つ」教育を基本として幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、支援学校などで、一人ひとりのニーズに応じた教育を行っている。
- 2 平成30年度の大阪府における小・中・義務教育学校への支援学級設置校率は、他府県と比較して高い。
- 3 支援学校(小・中学部)に在籍する児童生徒は、支援学級に在籍する児童生徒より多い。
- 4 学齢期の子どもが減少しているが、支援学校・支援学級に在籍する児童生徒は増加している。
- 5 障がいの重度・重複化など、障がいのある子どもの教育を取り巻く状況の変化に伴い、幼児児童生徒や保護者の意識やニーズが多様化している。

